当時「納涼台」は無料の休憩所で、人々はここでくつろいだり、弁当を食べたりした。写真は土産物として販売されていた絵葉書で、大正末期から昭和初期の『時雨亭』

―巻頭特集―

箕面川床（みのおかわゆか）

滝道を登っていくと迎えてくれる、美しい植物や川のせせらぎ、箕面山の清涼な空気。自然に囲まれて食べるごはんの美味しさは昔も今も変わらない。「箕面川床」とその歴史を紹介する。

一度消えた歴史を持つ風流な箕面の楽しみ

太陽は日に日に高くなり、新緑が鮮やかさを増していく季節。今年も箕面川沿いに「箕面川床」がオープンする。川床とは川の流れに張り出した桟敷（さじき）だ。暑さをしのぐ昔からの知恵で、涼をとりつつ食事を楽しめる。俳句では夏の季語にもなっていて、京都の「鴨川納涼床」が有名だが、箕面市に馴染み深い人がより親しみを持っているのは「箕面川床」ではないだろうか。その歴史について、『箕面市 地域創造部 箕面営業室』に話を聞いた。

箕面の川床は明治43年8月1日、新聞社である『大阪時事新報社』が箕面川沿いに「納涼台」として開設したのが始まりで、行楽の目玉として人気だったそう。昭和に入って一度途絶えてしまったが、社会実験を経て現在の「箕面川床」が復活した。

開設当時の『大阪時事新報』を見ると当時の盛り上がりが分かる。「大福引大景品付き快絶の納涼台開きは愈（いよい）よ明一日」の見出しで大々的に告知されているのだ。それによれば川沿いに5つの納涼台が設けられ、訪れた人は自由に休憩してよかった。造りも杉の丸太柱に杉皮の屋根をふいた雅な雰囲気だったようだ。福引大会の景品はなんと2万個。余興として青年俳優の舞踊や浄瑠璃、奇術、曲芸など数々のステージが行われたという。さらにはふもとから『箕面大滝』までイルミネーションが灯されるので夜でも明るく、電車は終夜運行と、かなり大がかりなイベントだったようだ。この年は『箕面有馬電気軌道（現在の阪急宝塚本線と箕面線）』が開通した年。大勢の人々が真新しく光る電車と、風光明媚な箕面山に心を躍らせたに違いない。

しかし昔は整備が進んでおらず、川は度々氾濫（はんらん）し、大正11年には川の増水で3カ所の「納涼台」が流された。そして昭和時代に入ってしばらくすると、記録から姿を消してしまう。

2 行楽に訪れた女性たち。右側は『せせらぎ亭』。現在の時雨のあたりだという

1 明治末期から昭和初期の川の流れの中に設置されていた『沈鐘亭（ちんしょうてい）』。

箕面の四季をいただく――

「箕面大滝」

まちの魅力を高めようと社会実験を経て復活

復活のきっかけは、「箕面駅」周辺地域が大阪府の「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」のモデル地区に選ばれたことだった。駅から滝道周辺の再整備と、まちそのもののブランド力（りょく）を高めることが目的だ。そこで復活を望む声が多かった「箕面川床」の計画が持ち上がり、有識者、行政、府民で構成される『箕面川床協議会』が設立された。それまで法規制の関係で難しかった川床の設置が条件付きで認められるよう緩和され、大阪の「北浜テラス」など先行事例が現れ始めたタイミングだった。

平成22年から社会実験として試験的に営業したところ、TVなどでも報道され1年目の春には6千人以上が訪れた。利用者の85%が「また訪れたい」と答え、また阪急「箕面駅」の乗降客数が前の年に比べて約2万人増加。これらを踏まえて2年間の社会実験の後、本格的にオープンすることになった。

その季節だけの景色に出会う喜び

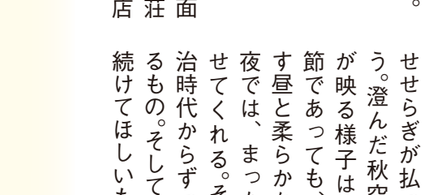
こうして復活を遂げた「箕面川床」。現在では『川床磯よし』『梅屋敷』と『川床音羽山荘』の2店舗で季節と料理を堪能できる。毎年訪れるリピーターも多く、ゴールデンウィークやお盆前までは特に賑わうそうだ。

夏が本番というイメージが強いかもしれないが、春から夏そして秋へと、季節ごとの趣がある。萌えだす春の新緑に目を休ませるも良し。夏の熱気は川を吹き渡るそよ風とせせらぎが払ってくれるだろう。澄んだ秋空に色づく紅葉が映る様子は格別だ。同じ季節であっても、木漏れ日の差す昼と柔らかな明かりが灯る夜では、まったく違う顔を見せてくれる。その美しさは明治時代からずっと変わらずあるもの。そして、この先もあり続けてほしいものだ。

「箕面川床」之図

今年の「箕面川床」営業情報について
くわしくは
http://minohkankou.net/experience/yuka/
問い合わせ／072-723-1885（箕面 交通・観光案内所）

取材協力／箕面市 地域創造部 箕面営業室、磯よし 本店、明治の森 箕面 音羽山荘
文／刀祢美沙　デザイン／松浦愛梨　写真提供／箕面市 地域創造部 箕面営業室



「会席風幕の内セット」

川床磯よし

美味しいものを少しずつ、贅沢に味わう会席料理。広めの座敷でゆったりと川や緑を間近に感じられる開放的な空間

「会席風幕の内セット」…3,900円
「はも鍋付き幕の内セット」…4,300円
「すき焼きセット」…6,300円
「飲み放題（100分）」…＋2,200円
※要予約

春季営業
4月20日（土）～6月9日（日）12:00～17:00
場所／『箕面公園』内 瀧安寺広場向かい
TEL ／ 072-724-2477

「春の川床会席」

川床音羽山荘梅屋敷

季節の野菜を中心に、地元食材の箕面実生柚子や伝統の行者蕎麦など、こだわりの地元食を堪能。春夏秋でメニューが変わる

「春の川床会席」…4,500円
※前日の17:00までに要予約
※月・水・木は原則10名以上の予約のみ

春季営業
4月20日（土）～6月9日（日）
<1部>11:30～13:00
<2部>13:30～15:00　※火曜定休
場所／『音羽山荘』本店（箕面市箕面公園1-3）向かい
TEL ／ 072-721-3005